



月曜日

21

きょうのみことば

マタイ 6:32~33

こういうものはみな、異邦人が切に求めているものなのです。しかし、あなたがたの天の父は、それがみなあなたがたに必要であることを知っておられます。だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。

いのちの 挑戦

昼の12時、夜の9時は、RUTCのために神様の子どもがすべてひとつとなって、祈る時間です。ですから、その時間になったら「まあ、いいか。このゲームが終わってからにしよう」と言うのはいけませんよ。

1. 祈りに挑戦

祈りは神様と対話する時間です。ところで、祈ることをあとまわしにするレムナントがいます。神様より、もっと好きなことが多いみたいです。祈らない、ほかの理由は「サタンが攻撃して」と「あまりにもおちつけなくて、どうしても祈れない環境」という場合です。しかし、レムナントは、これらすべての障害物をふわりと飛び越えて、神様との対話時間である祈りを守らなければなりません。

2. 祈りはすべて

祈れば問題を見る目が変わります。悪いとだけ思っていた考えが、ぱっと変わって、神様の計画を見つけようと考えるようになります。あちこち神様がかくしておかれた答えを見られるようになります。また、心も豊かになって、私の考えだけ正しいとか、かならずこのようにすると言ってがんこに言っていた心が、雪がとけるようにとけていきます。最後に、環境がどんなによくなって、神様がくださったビジョンをしっかりとにぎって勝利します。それで、かっこいいレムナントは、絶対に祈りの時間をのがすことはありません。祈りの中にすべてが入っているからです。

神様。祈ることがとてもいやに思います。でも、祈りの中にすべてのことが入っているという事実のみことばを通して知りました。今日から祈りに挑戦して、祈りの中にあるすべてのことを発見させてください。イエスさまのお名前によってお祈りします。アーメン

※ 定刻祈りの点検：昼12時 教会のために祈りましょう。夜9時 RUTCのために祈りましょう

神殿再建賛成

VS 神殿再建反対

「神殿をもう一度建てなければならない」という人と、「神殿をもう一度建ててはだめだ」という人がぶつかっています。それぞれがなにを話しをしてやりとりをしているのか、想像して書いてください。





火曜日

22

きょうのみことば

使徒 7:54~60

そして、ひざまずいて、
大声でこう叫んだ。
「主よ。この罪を彼らに
負わせないでください。」
こう言って、眼に
ついた。(60)

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

うつく 美しい人ステパノ

ステパノが立った裁判には、パリサイ人と律法学者、裁判官が
すわっていました。福音の影響を大きくあたえるところは、そ
のほかにはないと気づいたステパノは、いのちをかけて福音
を伝えました。ステパノの死ぬことをはっきりと分かっていた
のに、なぜそこで福音を伝えたのでしょうか。

1. ステパノは、重要なことを見ました

ステパノは、イエス様の働きを見た弟子でした。イエス様が
十字架で死なれ、三日後によみがえり、天にあがられるのを見
た弟子でした。イエス様がすべての国の人々に行き福音を伝
えなさいと言われた最後のみことばを心に入れた弟子でした。

2. 美しい人になりましょう

いのちは、なんにでもかけるものではありません。もっとも貴重で
重要なところにかけるのです。ステパノは神様の変わらないみ
ことばを心とたましいの中に入れました。それで、いのちをか
けて、福音を伝えることができたのです。レムナントの心とた
ましいの中に深く神様のみことばが入っていますか。その体験
からすれば、ステパノのように、大胆に福音を伝えることがで
きます。そして、ユダヤ人が投げた石に打たれて死んだので
すが、罪を彼らに負わさない、美しい人になることができます。

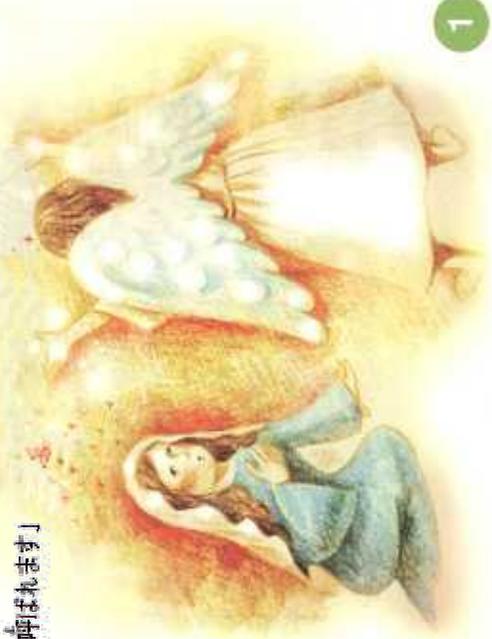
神様、ステパノのように、私の心とたましいに神様のみことばが深く入ることを願いま
す。私のことをきくらう友だちを愛することができる、美しい人になりたいです。それができ
るように、霊的な力をいっぱいにしてください。イエスさまのお名前によってお祈りします。
アーメン

◆ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう

本の中の本クリスマス特集

キリストであるイエスさまが おうまれになりました！

「恵まれた方！ 喜びなさい。主があなたとともにおられます」
びっくりしたマリヤは、声でするところを見つめました。
「こわがることはありません。マリヤ。神様があなたに恵みを
あたえられ、あなたはみごもって、男の子を産みます。その名は
イエスとつけなさい。聖霊があなただの上に臨み、いと高き方の力が
あなたをおおいます。生まれる子どもは、聖なる者、神の子と
呼ばれます」



彼らは、かいばおけに寝ている赤ん坊のイエスさまを、ひざまずいて
おがみ、宝の箱を開きました。そこには、黄金と乳香と没薬が
入っていました。
レムナントのみんな、12月25日はサンタクロースがプレゼントを
くれて家族どうしが幸せな時間を過ごす日ではありません。
イエスさまが人間が絶対に解決することができない3つの問題
(神様を離れること、サタン、罪)を解決するために人となつて
この世に來られた日を記念する日です。イエスさまだけが
眞の預言者、眞の王、眞の祭司のする事をなしとげられた
キリストなのです。

とお 遠くに行くなら いっしょに行きましょう



きょうのみことば

出 20:16

あなたの隣人に対し、誇りの証言をしてはならない。

ヒナちゃんは、いつも忘れ物をするハルちゃんがきらいです。それで、忘れてもかさないようにしたら、ハルちゃんは手をパッと上げて「先生、ヒナちゃんがかしてくれません!」とつげ口をします。怒ったヒナちゃんは、家に帰ってすぐにママにみんな話をしました。「そうね。ヒナちゃんの立場だったら、腹が立つでしょうね。お母さんは、先生とちょっと電話をしますね」

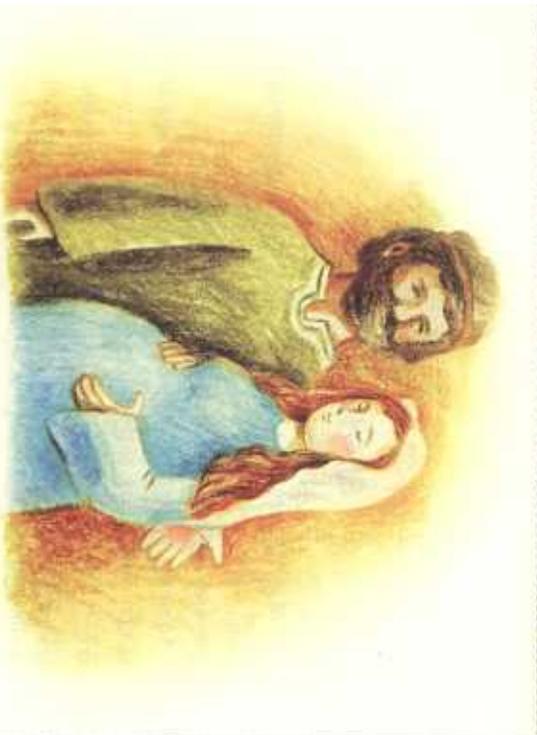
ママは、かなり長い間、電話をしていました。電話を終えたママは、ヒナちゃんを呼びました。「ヒナちゃんは、ハルちゃんにはママがいないことを知っていたの」ヒナちゃんは、首を左右に振りしました。

「ハルちゃんのパパは仕事をしていて、いつも忙しくて、ハルちゃんが学校の準備をすることができないということよ。ヒナちゃんは、ママがいて、このようにみな用意するのにね。ヒナちゃん、あなたの立場でだけ話をしてはいけないのよ。ハルちゃんが準備してくることができない事実を正確に知って話すべきですよ。また他人の話だからと、簡単に言ったり、悪口を言ってはいけないのよ。あなたが話したのが事実ではない場合もあるでしょう。それなら、それはうそでしょう。うそが悪いということ分かっているでしょう」

ヒナちゃんは、話す言葉がなくて、つま先だけ見下ろしていました。レムナントのみんなも、たびたびこういう失敗をするのでしょうか。事実ではない場合に、相手が非常に傷を受けます。あるタレントは、うそのうさにととも傷を受けて、いのちを断ってしまったのです。世界福音化は遠い所に向かって歩いていくようです。遠くへ行こうとするなら、事実に目を持って、他人の弱点をおおってあげながらいっしょに行かなければなりません。

神様、事実を知ってもいないのに、話をするがあります。また、私に向かって、神様に向かってもうそをつくことがあります。人と私と神様の前で、事実に、真実な時間を持つことができますように。私の良心を通してさとらせてください。イエスさまのお名前によってお祈りします。アーメン

※定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



マリヤはダビデの子ヨセフの家系のヨセフという青年と婚約をした状態でした。ヨセフはマリヤがみこもったという事実を知って、結婚を請かになかったことにしようとした。ところが、夢で主の使いが現れて言いました。

「ダビデの子ヨセフ、マリヤを妻とすることを恐れてはなりません。マリヤがみこもったのは、聖霊によることです。マリヤは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。その方は、ご自分の民を罪から救ってくださいます」

10ヶ月がすぎました。マリヤがからだを動かしながら喜びました。「赤ん坊が産まれそうです」

ヨセフは、旅館のあちこちを回りながらお願いをしました。しかし、みんな部屋がないと言って、断られました。それで、しかたなく、ヨセフは馬小屋の中にマリヤを連れて入りました。オギヤー、オギヤー少しして、力強い男の子の産声が聞こえてきました。キリストであるイエスさまがお生まれになったのです。その時、トントツとドアをたたき音がして、東方の服装をした人々が、宝の箱を持って入ってきました。「私たちが博士です。東方の国で見た星がこちらに私たちを案内してくれたので、ここまで来るようになりました。これをお受けください」





木曜日

24

きょうのみことば

ローマ 10:16 ~ 21

そのように、信仰は聞くことからはじまり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。(17)

かんが 考えもしていないところで 答えられました

オリンピックの体操で金メダルを取ろうといっしょうけんめいに練習をしていた十歳くらいの少年がいました。ところが、練習のとちゅうで、事故がおきて障害者になってしまいました。少年は、あっという間に、ずっと夢見てきた夢がこなごなにくださったのでした。

少年は「どうして、神様が私に…」と言って絶望したり、気落ちしたり、試みにあたりませんでした。静かに神様のみことばをにぎって黙想したのでした。そして、すばらしい事実をさとりしました。障害者がまひしたからだを使うためには、リハビリをすべきなのに、それを手助けする医師がとても不親切だったのでした。少年は親切な医師になって、障害者のリハビリを手助けする医者にならなければならないと決心しました。それが自分に向かった神様の計画だという事実をさとしたのです。

ついに少年は、世界最高の病院であるジョーンズホプキンス病院のリハビリ医学と医者になったのでした。その少年の名前はリー・スポンクです。人々は少年を「スーパーマン・ドクター・リー」と呼びます。

もしレムナントのみんなならば、こういう状況でどのようにしますか。ぶつぶつと自分の思い通りに答えがないとすねる友だちがいますが、神様の計画は私たちが思うこともできないほど大きくて、細かいということです。私の思い通りにならなかったと気をおとさずに、神様のみことばを通して神様の計画を発見してみてください。すべての事件と問題が、スーパーマン・ドクター・リーのように、考えることもできないところで大きい答えが来るでしょう。良い神様は私の失敗、問題、事件、くやしさを一ヶ所に集めて、もっとも良いことにされる、すばらしい方なのです。

良い神様、私の思いどおりに答えが来ないときに、不信仰が心にいっぱいになって、ぶつぶつとつぶやきます。しかし、もうスーパーマン・ドクター・リーのように、みことばをしっかりにとぎります。私を聖霊で満たしてください。すべてのことを働かせて益としてくださるイエスさまのお名前によってお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう

赤ちゃんのイエス様がもらった贈り物

王、預言者、祭司の職をするためにイエス・キリストが来られました。下のカードの絵の中で、イエス様がもらった贈り物はどれか、をつけましょう



黄金



ゲーム機



乳香



誕生日ケーキ



プレゼントのつつみ



没薬

乳香：カンラン科に属する木の樹脂で、漢方医学の薬の材料
没薬：香水、化粧品、薬の材料など、いろいろと利用されて、古代近東地方や中東地域、および中世ヨーロッパでは非常に貴重だと考えられ、エジプトではミイラを作るのに防腐剤として使った

メリークリスマス

金曜日

25

きょうのみことば

1 ペテロ 2:9

しかし、あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です。それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです。

今日は、御子なる神様であるイエス様が、人となってこの世に來られた日を記念するクリスマスです。イエス様は、この世に來られて、キリストという証拠で神様に会う道を開けた真の預言者、私たちのすべての罪をゆるされた真の祭司、悪魔のしわざをほろぼされた真の王の働きをされました。そして、そのことを神様の子どもにまかせられました。ところが、サタンがおながすいて、ガオーとなくライオンのように、みことばをのがした神様の民を一口で飲みこんでしまおうと歩き回っています。

レムナントのみなさん、耳をピンとたてて神様のみことばに耳をかたむけてみてください。また、神様がくださった七つのプレゼント(聖霊の内住、聖霊の導き、聖霊の働き、暗やみを縛る、天使の助け、天国の民、世界福音化)を祈りで楽しんでみてください。これはだれかが、かわりにしてあげることができません。一人でしなければなりません。それでは「ガオー!」ときたサタンが「レムナントにはかなわない!」と言いながら逃げます。

ところが、サタンがクリスマスの真の意味をサタンがプレゼントをくれる日に、あるいは愛する人と幸せな時間を送る日に変えています。イエス様がキリストの働きをしに來られたという事実を人々が分かれば、サタンの立場では大変なことになるからです。レムナントのみなさん、サタンがばらまいた暗やみの霧に、イエス・キリストの光を照らして下さい(伝道運動)。このことをすることをしようとして神様はレムナントを呼ばれました。

愛の神様、私たちのためにキリストであるイエス様を送ってくださってありがとうございます。光と塩のよきはたすことができるように、聖霊に満たしてください。万王の王であるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう

Merry Christmas!

多くの友だちが、クリスマスといえばサンタのおじさんを思い出します。しかし、クリスマスの主人公は、サンタのおじさんではありません。それは、イエス・キリストです!

ところで、なぜクリスマスの主人公がサンタのおじさんになったのでしょうか。



今から約1,700年前、オランダの人であるニコラウスは、貧しい人々をとともたくさん手助けしました。人々は、優しいことをよくしたニコラウスが死んだとき、彼に「セント(サンタ)」、(saint: 神聖な人、聖者)という呼び名をつけて、彼の良い行いを記念したのです。そしてサンタ・ニコラウスのように、かわいそうな隣の人を手助けする人を「サンタクロース」と呼びました。

隣の人を愛して、優しいことをよくするのは、良いことですが、サンタのおじさんは、私たちの罪をゆるして、救ってくれることはありません。真の王、真の預言者、真の祭司であるイエス様だけが、私たちを救うことができます。それで「クリスマス」という言葉は、キリスト(Christ: メシヤ)が來られた日(mas: 日)を記念しようという意味です。

さあ、もう真のクリスマスの意味を分かりましたね。でも、この事実を知らないお友だちがととも多いでしょう! レムナントのみなさん。クリスマスの真の意味を友だちに知らせてあげましょう。



たんじょうび 誕生日パーティー

太陽^{たいよう}が高^{たか}くのぼった。来^こないように思^{おも}えた誕生日^{たんじょうび}がよいよきた。しかし、ユイは、あまり喜^{よろこ}べなかつた。

ユイは、パパとこ^{ところ}ろに近^{たず}づいて尋^{たず}ねた。

「パパ、聖^{せいじつ}日はきよく守^{まも}らなければなら^{ない}の」

パパは「もちろ^ん」と言^いった。

ユイは、ため息^{いき}をつきなが^ら考^{かんが}えごとをして^いた。パパはユイの鼻^{はな}をこっそり^ととひっぱりなが^ら「どうされ^たのですか。王女^{おんじよ}さま」と聞^きいた。

「ハヤトく^んのパパが聖^{せいじつ}日は、きよく守^{まも}るべき^だと言^いったそう^{なの}」

ユイはぶすつとした顔^{かお}をしなが^ら答^{こた}えた。

パパは「それ^で?」と尋^{たず}ねた。

「ハヤトく^んが、昨日^{きのう}プレゼント^をを買^かって^おくべき^だだったのに、うっかり^{わす}れ^て買^かえなかつたそう^{なの}。聖^{せいじつ}日はきよく守^{まも}らなければなら^{ない}から、絶対^{ぜったい}にお金^{かね}を使^{つか}ってはいけ^{ない}でしょう。それで、

今日^{こんにち}の誕生日^{たんじょうび}パーティーには来^こられ^{ない}そう^{なの}。

今^{こん}回の誕生日^{たんじょうび}パーティーにハヤトく^んのよう^にイエス様^{さま}を信^{しん}じ^{ない}友^{とも}だち^をを伝^{でん}道^{どう}しよう^と、イ^いベ^んト^を考^{かんが}えてお^いたのに、水^{みづ}の泡^{あわ}にな^なつちやう」

「聖^{せいじよ}書^{しょ}みことばに答^{こた}えが^あるけれど、パパと一度^{いちど}見^みてみるかい」

ユイは頭^{あたま}をこく^んとうな^ずいた。

「さあ、コリント人^{にん}への手^て紙^し10章^{しやう}24節^{せつ}から33節^{せつ}に答^{こた}えが^あ出^でているよ。いっしょ^に読^よんでみよう」



だれでも、自分^{りえき}の利益^{りえき}を求め^{ない}で、他人^{たにん}の利益^{りえき}を心^{こころ}がけ^{ない}さい。市場^{いちば}に売^うっている肉^{にく}は、良心^{りやうしん}の問題^{もんだい}として調^{しら}べ上^あげること^はし^{ない}で、どれでも食^くべなさい。地^ちとそれ^に満^みちて^いるもの^は、主^{しゆ}のもの^{だから}です。もし、あなた^がたが信^{しん}仰^{かう}のない者^{もの}に招^{しょう}待^{たい}されて、行^いきたいと思^{おも}うときは、良心^{りやうしん}の問題^{もんだい}として調^{しら}べ上^あげること^はし^{ない}で、自分^{おの}の前に置^おかれる物^{もの}はどれでも食^くべなさい。しかし、もしだれ^かが、「これは偶^{くわう}像^{ぞう}にさ^さげ^た肉^{にく}です。」とあなた^がたに言^いうなら、そう知^しらせた人^{ひと}のため^に、また良心^{りやうしん}のため^に、食^くべてはいけ^{ません}。私^{わたくし}が良心^{りやうしん}と言^いうのは、あなた^の良心^{りやうしん}ではなく、ほか^の人^の良心^{りやうしん}です。私^{わたくし}の自由^{じゆう}が、他^たの人^の良心^{りやうしん}によつてさ^さばかれるわけ^{がある}でし^{ょう}か。もし、私^{わたくし}が神^{かみ}に感^{かん}謝^{しゃ}をさ^さげて食^くべるなら、私^{わたくし}が感^{かん}謝^{しゃ}する物^{もの}のため^に、そし^られるわけ^{がある}でし^{ょう}か。こ^ういうわけ^で、あなた^がたは、食^くべるにも、飲^のむにも、何^{なに}をするにも、た^だ神^{かみ}の栄^{えい}光^{こう}を現^{あらわ}わすため^にし^なさい。ユダヤ人^{にん}にも、ギリシヤ人^{にん}にも、神^{かみ}の教^{きやう}会^{かい}にも、つ^まずき^をを与^{あた}えないようにし^なさい。私^{わたくし}も、人^{ひと}々^々が救^{きう}われるため^に、自分^{りえき}の利益^{りえき}を求め^ず、多^{おほく}くの人の利益^{りえき}を求め[、]どんなこと^{でも}、み^なの人^をを喜^{よろこ}ばせて^いるのです^{から}。

「ユイの考^{かんが}えでは、ハヤトく^んが誕生日^{たんじょうび}プレゼント^をを買^かって^こう^ができ^{なく}ても、誕生日^{たんじょうび}パーティーにき^て信^{しん}じ^{ない}友^{とも}だち^に福^{ふく}音^{おん}を伝^{でん}えるのが良^よいのか、ハヤトく^んが誕生日^{たんじょうび}プレゼント^をを買^かわなかつたから、誕生日^{たんじょうび}パーティーに来^こないのが良^よいのか」

パパが尋^{たず}ねた。

「誕生日^{たんじょうび}のプレゼント^をを買^かってこ^{なく}ても、私^{わたくし}の誕生日^{たんじょうび}パーティーにき^て信^{しん}じ^{ない}友^{とも}だち^に福^{ふく}音^{おん}を伝^{でん}えるのが良^よいと思^{おも}う。パパ、私^{わたくし}、今^{いま}、すぐ^にハヤトく^んに電^{でん}話^わして、プレゼント^はいら^{ない}から、そ^のま^ま誕生日^{たんじょうび}パーティーに^こ来^こて^と言^いうわ」

ユイは、パツと立^たちあ^がつて電^{でん}話^わの^とこ^ろに矢^やのよう^に走^はって^行った。パパは「そ^うし^なさい」と言^いいなが^ら笑^{わら}っていた。

★定^{てい}刻^{こく}祈^{いの}りの点^{てん}検^{けん}：

昼^{ひる} 12時

教会^{かい}のため^に祈^{いの}りま^しよう。

夜^よ 9時

RU^{TC}のため^に祈^{いの}りま^しよう

